

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年01月25日

計画の名称	2 いわき市の汚水処理施設統廃合事業											
計画の期間	平成31年度 ~ 令和03年度 (3年間)										重点配分対象の該当	○
交付対象	いわき市											
計画の目標	下水道施設の統廃合により、持続可能な下水道事業の実現を図る。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	4,882	A	4,882	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29末	H32末	H33末
1	下水道施設の統廃合により、接続管渠3,100m(H33末)を整備する。 計画期間における接続管渠の整備実施延長(m)	0m	2700m	3100m
2	下水道施設の統廃合により、処理場の4施設(H33末)を整備する。 計画期間における処理場の統廃合に着手した施設数(施設)	0施設	4施設	4施設

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	いわき市	直接	いわき市	管渠(汚水)	新設	2-A-1 統廃合事業(汚水管渠)	接続管渠 L=1,300m	いわき市						421	-	
	A07-002	下水道	一般	いわき市	直接	いわき市	管渠(合流)	新設	2-A-2 統廃合事業(合流管渠)	接続管渠 L=1,800m	いわき市						971	-	
	A07-003	下水道	一般	いわき市	直接	いわき市	終末処理場	新設	2-A-3 統廃合事業(処理場)	処理場統廃合に必要な施設の整備等	いわき市						3,490	-	
											小計						4,882		
											合計						4,882		

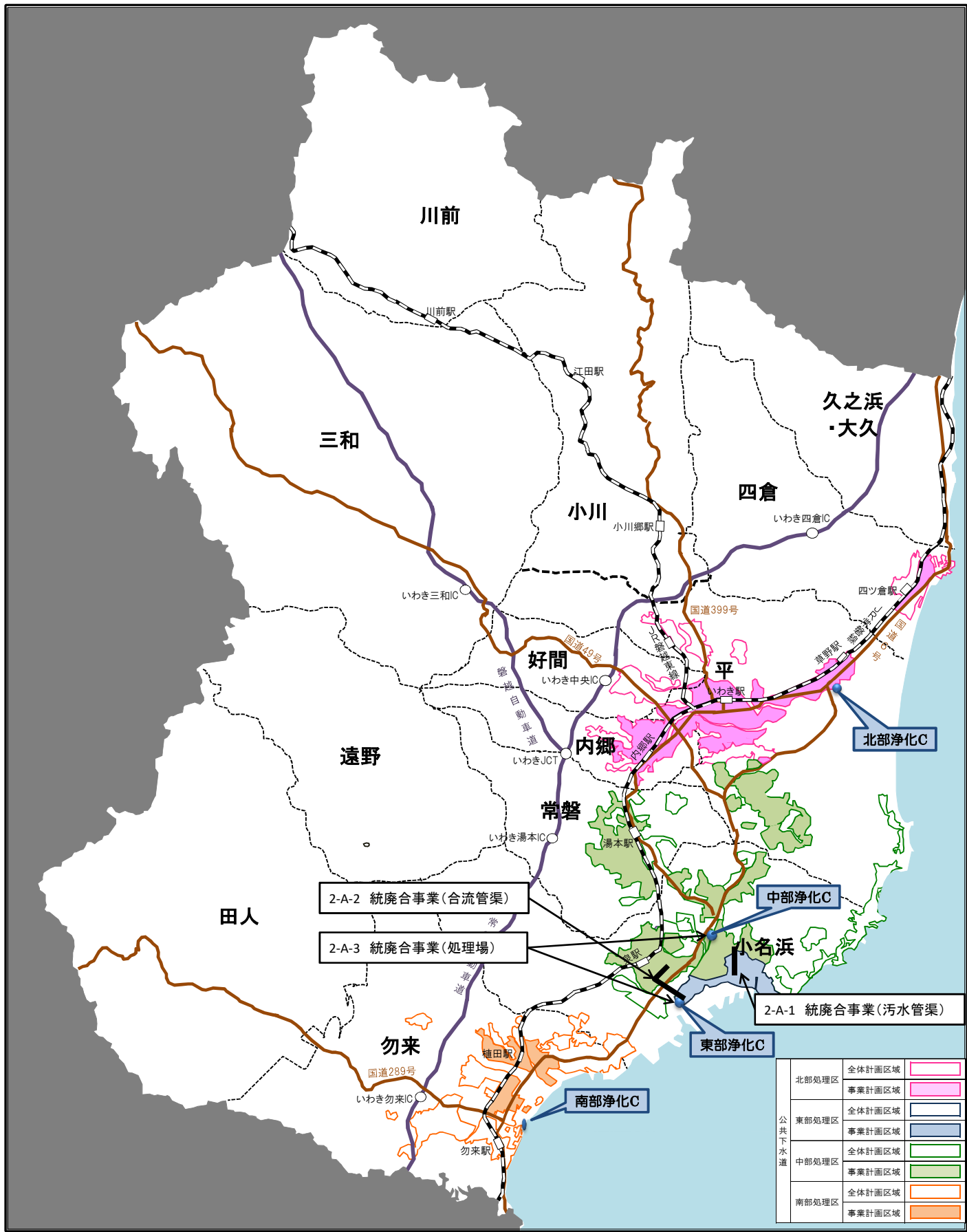
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02			
配分額 (a)	342	687			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	342	687			
前年度からの繰越額 (d)	0	65			
支払済額 (e)	277	752			
翌年度繰越額 (f)	65	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)

計画の名称	2	いわき市の污水処理施設統廃合事業	
計画の期間	平成31年度 ~ 令和3年度 (3年間)	交付対象	いわき市



事前評価チェックシート

計画の名称： 2 いわき市の汚水処理施設統廃合事業

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○